

# 統一球導入がもたらした影響

- 硬式野球用ボールに関する歴史の変遷をふまえて -

森景 大貴 (競技スポーツ学科 スポーツビジネスコース)

指導教員 吉倉 秀和

キーワード：統一球、WBC

## 1. 緒言

### (1)はじめに

しかし2013年シーズンに入るとホームラン数が急増し、選手などから「今年のボールは良く飛ぶ」というような声が出ていた。実際、ボールの規格が変更されており、NPBはこれを公表すべきところだったが、公表していなかった。

### (2)研究の目的

本研究では、国内および国外における、ボール誕生から現在までに至り、どんなボールが使われてきたのかを文献や資料をもとに歴史的、文化的側面から明らかにする。またNPBによる統一球導入についてメーカーの製造担当者に対するインタビュー調査をもとに考察することを目的とする。

## 2. 研究方法

### (1)調査対象者

- ・公式球製造担当者 M 社
- ・硬式野球ボール製造担当者 I 社、T 社
- ・プロ野球記者 (K 社)

### (2)調査方法

- ・文献調査
- ・インターネット調査
- ・インタビュー調査

### (3)調査期間

2013年10月～11月

## 3. 結果

「NPB公式球製造担当メーカー」	
Q. 2010年→現在 ボールの売り上げの変化は？	売り上げは多少増えたが相場が定まっていないこともあり、あまり変わらない。その他にも、コストがダウンしたことも売り上げが上がった要因。
Q. メジャーと同様のボールが必要かという国民の意見についてはどう思うか	そのようなボールは必要かもしれない。しかしメジャーリーグやWBCでの使用球を製造しようと思えば可能だが、NPBが要望をしないので、現在のままで製造している。
硬式野球ボール製造メーカーI社、T社	
Q. 公式球製造元から離れた時のボール売り上げの変化は？	ボール自体の売り上げは僅単位でダウンした。その他のメーカーも大幅に売り上げが下がっているのではないかと。たくさんのお客様がM社製のボールに流されたのだろう。
Q. 統一球がもたらした最も大きな影響は何だと思うか	ホームラン数が激増したり、激減したりすることで試合展開の進み方が全く変わってきている。また売り上げが下がるなどのメーカーに対する影響もかなり大きいと思う。
K社のプロ野球担当記者	
Q. 国際大会対策として成り立つボールはどのようなボールだと思うか	国際大会と同じ球を使うこと。WBCならWBCで使う球を使用すること。
Q. 現在のボールは本当に国際大会対策になっていると思うか	思わない。規格や皮の質などが全然違う。
Q. 統一球がもたらした最も大きな影響はなんだと思うか	ホームラン数の変化だと思う。しかしそれより大きいのが日本野球機構(NPB)への不信感だ。

## 4. 結論

統一球がもたらした影響として「各メーカーの売り上げの変化」「ホームラン数の変化」「NPBへの不信感が大きくなった」という主に3つの意見が抽出された。

そこでまず、NPBは日米共通のボールを使用すべきという国民の意見に応えられるボールを導入すべきだと考えられる。その意見に応えるためにも硬式野球ボールを製造している各メーカーはメジャー同様の使用球を開発し、NPBに提供することが必要になってくるだろう。

### 【引用参考文献】

玉木正行編(1999) プロ野球大辞典, 新潮文庫